

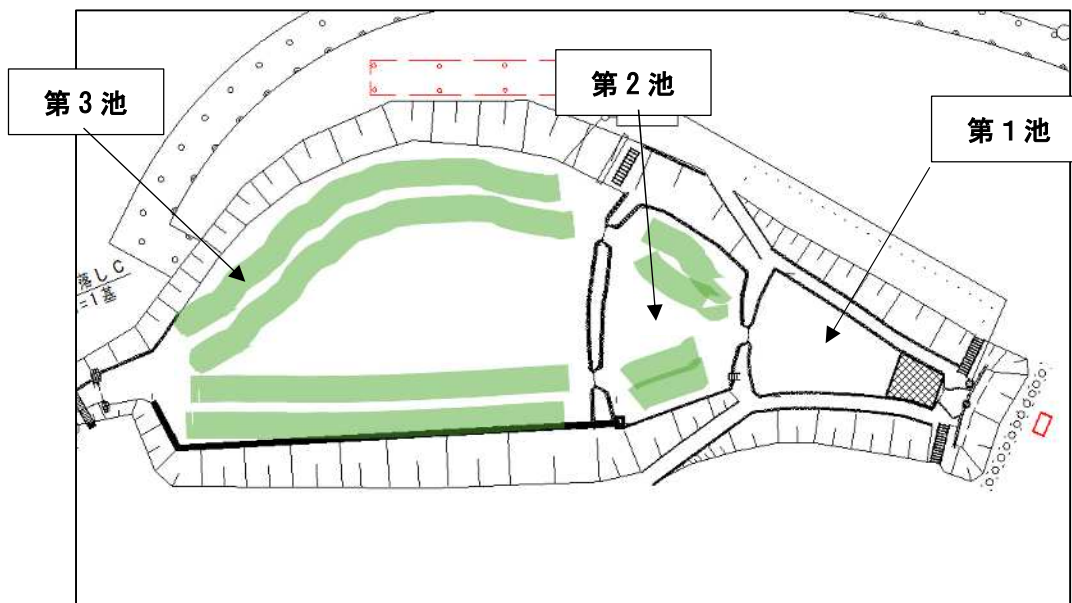
【うしづま水辺の楽校】藻の対策について

1 課題

- ・コロナ禍以降、藻の発生が多くなってきている。
- ・臭気も上がっており、子どもが遊ぶ環境としては厳しい
- ・水流がない箇所に藻が多く発生している。



【第2池：水抜き後の藻の状況】



【池の周堤部に藻が多い】

2 有識者ヒアリング

金沢大学 坂本貴啓講師

- ・コロナ禍は健全だったとのことなので、湧き水量が減っていることが考えられる
- ・それに伴う水温の上昇も藻の繁殖には有利になる。
- ・滞留時間が長くなるのはよくない

(考察)

第1池での藻の発生がないことを考えると、坂本講師の言っていることは合っている可能性が高い

3 改善対応策

① 池底の攪拌

- ・ 第2池 世話人会で重機による池底攪拌
- ・ 第3池 静岡河川事務所による池底攪拌（6/9, 10実施）



② 堰の小細工

- ・ より水温の低い水を下流に流すように、堰の間に石を挟み排水する。
- ・ 池の底部に水流ができることで滞留している藻が流れていくことを確認



【改善対応策前】



【改善対応策後】

③ 使用頻度をあげる

- ・ 平日の利用者を増やす。